

第9回日中韓大学院生フォーラムで本学学生が発表・受賞

生命環境科学分野の大学院生の英語によるコミュニケーション能力の向上等を目的に毎年開催される日中韓大学院フォーラムが、9月20日から22まで韓国の大田広域市で開かれました。日本からは筑波大学から27名、中国からは北京大学、清華大学、中国地質大学、中国農業大学、中国科学院大学、中国科学院地理科学与資源研究所、瀋陽農業大学の7大学から68名、韓国からは忠南国立大学から26名の計121名が参加しました。

21日、22日の2日間、農学セッション(2)、生物科学セッション(2)、環境科学セッション(4)、地球科学セッション(2)の合計10のセッションで、121題の研究報告が行われました。21日は遠慮気味でしたが、22日になると顔なじみになったせいか、質疑応答も活発に行われるようになりました。博士課程や修士課程の学生に交じって学類生の発表が5題あり、彼らが頑張っているのが印象的でした。22日の閉会式では、10のセッションで最優秀の1等賞と2等賞の学生20名が選ばれ、筑波大学からは1等賞が5名、2等賞が3名選ばれました。筑波大生の研究発表は堂々としており、明解でわかりやすく、抜きんでておりました。筑波大生の研究発表は出色の出来栄えでしたので、20名の受賞者のうち8名が筑波大生であったことは当然であると思います。

交流は2日間だけでしたが、23日の朝には別れを惜しむ姿が多く見られました。若者たちの友達づくりの能力は素晴らしいものです。学生たちの相互理解と交流が、日中韓の明るい未来を作るに違いありません。

来年は、中国地質大学で第10回日中韓大学院フォーラムが開催されます。日中韓フォーラムは筑波大学が中心になって発足しました。中国地質大学の教員から、来年も筑波大学から多くの学生が参加してほしいとの要望がありました。筑波大学の学生の自主的な参加を期待しております。

これからも、日中韓大学院フォーラムが末永く続くように、皆様の協力をお願いいたします。

(次のページで各賞受賞者と写真をご紹介します)

【日中韓大学院フォーラム受賞者】

Agricultural Sciences I

1st Prize NAZIA MUHSIN (国際地緑技術開発科学専攻)

Biological Sciences I

1st Prize MISHMA SILVIA STANISLAUS (生命産業科学専攻)

2nd Prize SHIN SEUNGJAE (生物科学専攻)

Biological Sciences II

1st Prize ZHAO CHENYU (生物資源科学専攻)

2nd Prize ZHANG NAN (生物資源科学専攻)

Environmental Sciences III

1st Prize 浅野裕樹 (地球科学専攻)

Environmental Sciences IV

1st Prize 町田南海子 (地球科学専攻)

2nd Prize XU YINCHAO (国際地緑技術開発科学専攻)



(受賞者・教員)



(第9回日中韓大学院生フォーラムの参加学生・教職員)